

Project Name

ツツジ山再生プロジェクト

歴史ある中庄の山を再び「コバノミツバツツジ」の名所に

「つゝじ山 不洗観音なぜなぜすゝし」北原白秋が作詞した幻の民謡と言われる「倉敷節」。その歌詞にも「ツツジ山」の一節が出てくるように、昭和のはじめ頃、帯江銅山跡地はツツジの花見の名所でした。しかし、全山桃色に染まったのは過去の話。現在は雑木が生い茂り、ツツジの姿はまばらになってしまいました。

そこで私たちは、地域の人々とともに里山にツツジの咲く風景を取り戻し、それをきっかけとして地域の人びとの交流を活性化し、住みよいまちづくりにつなげたいと考えました。

山の中に現存するツツジは「コバノミツバツツジ」という種類。その木から種子を採取し、播種、苗づくりをして町内の民家や道路縁に植栽を考えています。昨年も中庄小学校と倉敷自動車学校、熊野神社に苗木を贈り、大切に育ててもらっています。3年前に植えた苗木にも少しずつ花が咲くようになり、その数も増えてきていますが、植物を増やし、育てるには時間がかかります。そこで、様々な形で協力してくれる仲間を集めたいと写真コンテストを開催しました。秋には地域の自然を考える講演会を開催予定です。

これからも地域とのつながりを大切にしながら、ツツジの植栽を通じて地域の活性化の一助になることを目指したいと思っています。



銅山後／写真コンテスト／小学校での植え替え／播種作業

Group Name

ツツジ山再生プロジェクト

2005年、中庄地区の歴史・文化を学ぶ「中庄の歴史を語り継ぐ会」が発足し、学習を進める中で帯江銅山がツツジの名所であることがわかりました。このことから、再びツツジの咲く風景を取り戻そうと2013年より活動を始めています。

【お問合せ】Tel&Fax…086-422-8065 E-mail…kouzou5037@gmail.com

Web…<http://cllabo-2012.seesaa.net/category/24376994-1.html>



事業概要

事業の目的

ツツジの苗木の育成(年1000本)、植栽(年200本)を目標に活動することで、地域の人びとや自然とふれあう機会を増やし、ツツジの復活を通して環境美化と地域住民の交流の活性化を図る。

活動内容・実績

会の参加者が昨年の2倍の20名に増え、植栽したツツジもそれぞれの場所で順調に育っている。写真コンテストも、昨年の2倍の63点の応募があり、北公民館、倉敷市役所に展示し、好評であった。

団体からのメッセージ

中庄の銅山跡地一帯を再びツツジが咲き乱れる山にするために、私たちと一緒に種まきから始めませんか。

私たちが大切にしていること…自然をいたわるために、銅山跡地に咲いていたツツジの種子から苗木を作るということ。

この活動を通じて得たもの…ツツジの探索・種子の採集・苗木作りと、集まってくれた様々な方々と新たな交流を深めながら活動できたこと。

